

## 箱根山の火山活動解説資料（平成 20 年 4 月）

気象庁地震火山部  
火山監視・情報センター

火山活動に特段の変化はなく、火口周辺に影響を及ぼす噴火の兆候は認められません。  
平成 19 年 12 月 1 日に噴火予報（平常）を発表しました。その後、予報警報事項に変更はありません。

### ○ 活動概況

#### ・ 噴気など表面現象の状況（図 1※）

環境省インターネット研究所の箱根・大涌谷カメラでは、大涌谷の噴気に特段の異常は認められませんでした。

#### ・ 地震や微動の発生状況（図 2）

4 日に、駒ヶ岳の南側を震源とする地震が一時的に増加しました。最大地震は、4 日 8 時 6 分に発生したマグニチュード<sup>1)</sup> 2.6 の地震で、箱根町湯本等で震度 1 を観測しましたが、期間を通じて地震活動は低調な状態でした。

火山性微動は観測されませんでした。

箱根山では、2001 年に駒ヶ岳周辺を震源とする活発な地震活動(最大地震 M2.8)があったほか、その後も年に 1 回程度の割合で一時的な地震の増加が繰り返されていますが、火山活動に特段の変化はみられていません。

1) マグニチュード(M)は地震の規模を示します。資料中のマグニチュードは一部暫定値が含まれており、後日変更することがあります。

#### ・ 地殻変動の状況

気象庁が湯河原に設置している体積歪計<sup>2)</sup>や神奈川県温泉地学研究所の傾斜計<sup>3)</sup>等では、今回の地震活動に関連した変化は認められませんでした。

2) センサーで周囲の岩盤から受ける力による体積の変化をとらえ、岩石の伸びや縮みを精密に観測する機器。火山体直下へのマグマの注入等により変化が観測されることがあります。

3) 地面の傾きを精密に観測する機器。火山体直下へのマグマの注入等により変化が観測されることがあります。

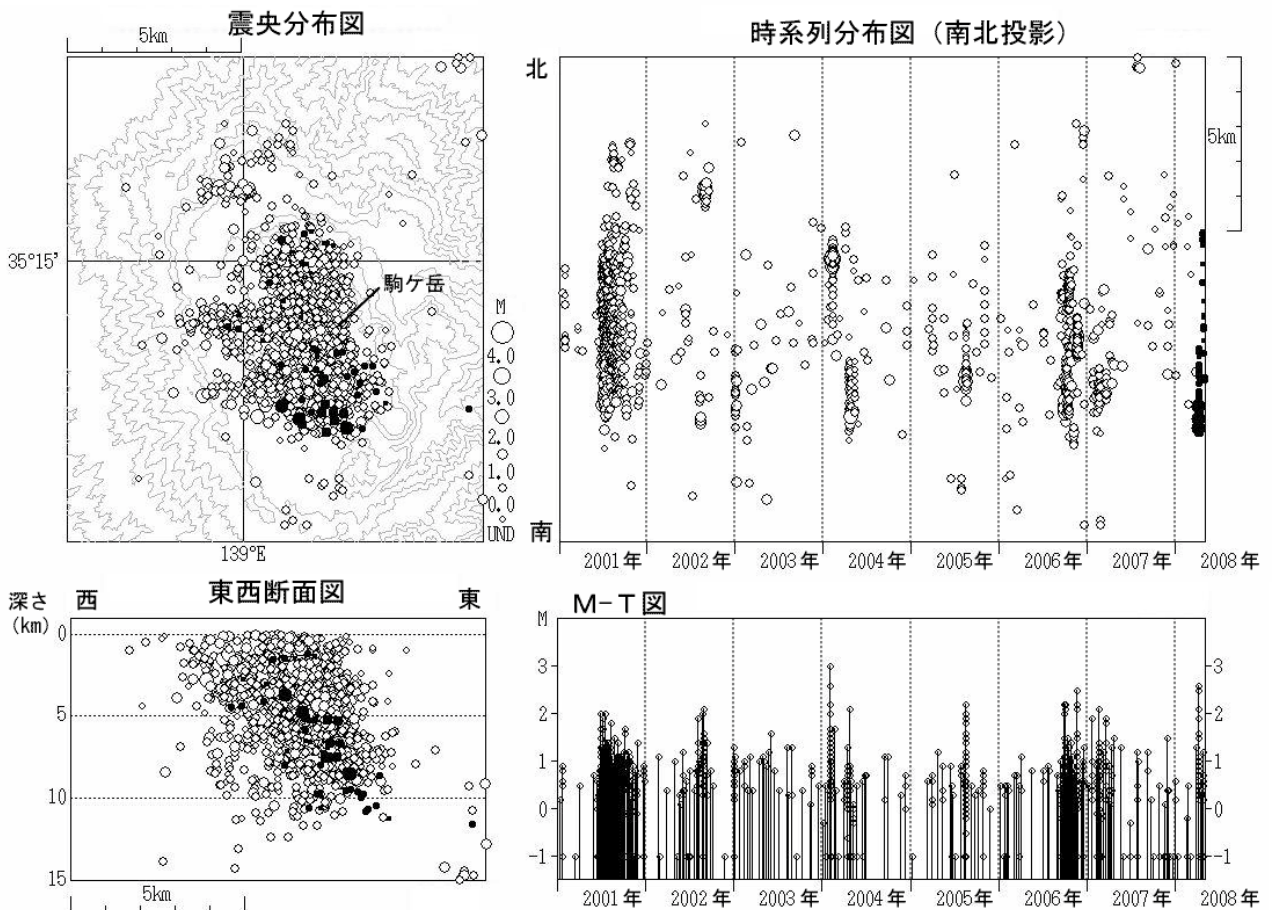
この火山活動解説資料は気象庁ホームページ (<http://www.seisvol.kishou.go.jp/tokyo/volcano.html>) でも閲覧することができます。次回の火山活動解説資料（平成 20 年 5 月分）は平成 20 年 6 月 6 日に発表する予定です。

※この資料は気象庁のほか、環境省インターネット研究所、東京大学、独立行政法人防災科学技術研究所及び神奈川県温泉地学研究所のデータも利用して作成しています。

資料中の地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の『数値地図 25000（行政界・海岸線）』『数値地図 50m メッシュ（標高）』を使用しています（承認番号：平 17 総使、第 503 号）。



図 1※ 大涌谷の状況（4月14日、環境省インターネット研究所の箱根・大涌谷カメラによる）



○：2001年1月1日～2008年3月31日 ●：2008年4月1日～4月30日

図 2 箱根山 地震活動経過（2001年1月1日～2008年4月30日）

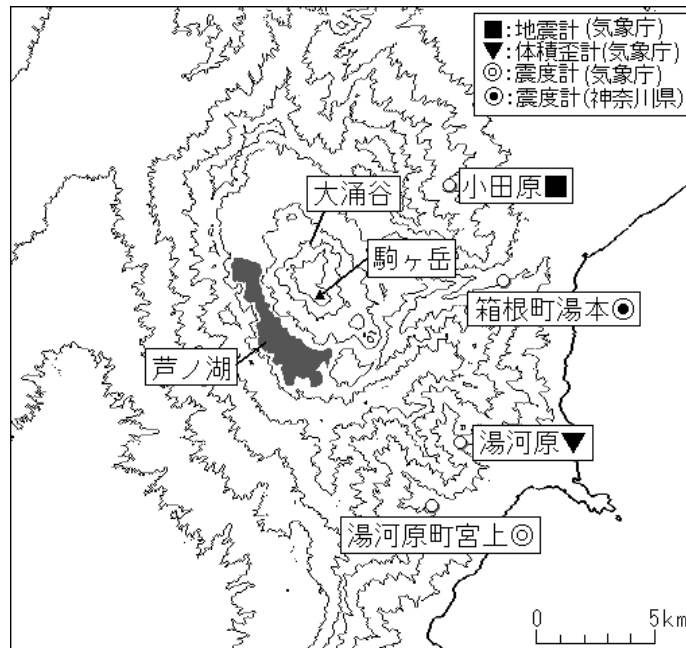


図3 箱根山 観測点配置図（小さな白丸は観測点位置を示しています）